

# 消防防災部会 会議録

（出席者） 委員：10名  
事務局：3名（戦略部会員：2名、政策推進課：1名）  
アドバイザー：1名  
ファシリテーター：1名

（会議の内容）

## 1. はじめに

資料1に基づき、ふり返しシートの質問について事務局から説明しました。

資料2に基づき、第2回まちづくり市民会議（第1回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

## 2. 今後の検討スケジュールについて

資料3に基づき、今後の検討内容とスケジュールについて事務局から説明しました。

## 3. 総合計画の人口フレームについて

資料4に基づき、総合計画の人口フレームの方向性について確認を行いました。

## 4. 戦略プロジェクトについて

資料5に基づき、戦略プロジェクトについて意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

## 5. 市民評価について

会場を政策会議室に移し、「自主防災活動推進事業」「自主防災施設等整備支援」について市民評価を行いました。（市民評価の判定結果は次ページ以降に掲載。）

## 6. アドバイザー総括（査掛アドバイザー）

来年度以降、市の具体的な指導も含めて、事業を拡充していただけるようにしてほしい。

## 7. その他

次回開催日程は、4月23日（月）19：00からに決定しました。

各自ふり返しシート、市民評価アンケートを記入し、解散しました。

## 主な意見（消防防災部会）

項目	現状・課題
人口について	<p>(委員) 昔と比べて何ごとにも資格がいるようになり、職業にも影響し、子どもも持ちにくい時代となった。</p> <p>(委員) 工場地帯がある関係で、昼間の流入人口はかなりあると思う。全体を見れば昼間人口は増えている。そこで、どうここに定住させるのか、という話ではある。防災の面からみれば、昼間に田原市で就労している方々をいかに安全に導くかということが問題になる。そこに居住人口が少なくても、就労人口が8万人も9万人もいれば、その人を安全に避難させる策をとらなければならない。</p>
戦略プロジェクトについて	<p>(委員) 「戦略」という言葉をもっとわかりやすくすればよい。</p> <p>(委員) 先日の朝日新聞で防災の特集があった。実際に活動をしている防災組織の中で、特に活発に取り組んでいるところを紹介したもので、名簿づくりや、帰宅困難者への対応、学校を巻き込んだ活動などの例と、東日本大震災後に自主防災会が機能した例が掲載されている。</p> <p>(委員) 田原市の中でも自主防災会のモデルになっている加治町がある。地域の人の本気にならない限り、組織をつくっても進まない。</p> <p>(委員) 防災倉庫の中身は、ある程度マニュアル化されているのか。本当は自主防災会で話し合っていかなければならないのではないのか。</p> <p>[事務局] 乾パン類や水など、ある程度共通したものはそろっている。地域によっては多少の重機がある場合もある。地域の特性もあるので、地域住民が欲するものは自分たちで用意しないといけない。</p> <p>(委員) 地域で差があると感じる。多額のお金をかけて立派な施設をつくりながら、どうにもならないところもあるという。水害があった時に、床下の水を抜くためにポンプを使うというが、実際に使ったことはない。倉庫の鍵の管理の在り方も検討が必要である。</p> <p>(委員) 資料にあるポンプとは何に使うものか。</p> <p>[事務局] 消火である。</p> <p>(委員) 65口径のホースでは女性は振り回されてしまっていて使えない。本来は初期消火だから大きなものは必要ない。もっと考えて、女性や子どもでも使えるぐらいの形にできないかと思う。</p> <p>(委員) 消防団や消防署がある中で、小型ポンプというのはそんなに必要だろうか。</p> <p>[事務局] 車がそこに行けるかということだろう。また、同時に火災が起こった際に、自分たちの身は自分たちで守るということである。</p> <p>(委員) 自主防災会の温度差の話があったが、要はやる気にならなければいけない。私は、先ほど話のあった加治地区に住んでいる。組織立ち上げの頃の防災リーダーをやった。加治は大きく9地区あるので、</p>

	<p>地区に1人ずつ防災リーダーを付けて、その下にサブリーダーを2人付けて、全部で40人ぐらいの人の一番上に、いわゆる地区の防災リーダーがいて、全体の指揮を執る形である。民生委員の方で避難が大変な方たちをどうするかということがあったが、何年も真剣にやっているとそういう話が出てくる。防災の話には必ず民生委員に入っただき、個々を誰が避難させるかというのを決めている。11月や年度初めに各戸の世帯人数を確認する。高齢者と若い方の世帯に対して行い、資料を新しくする。リーダーも任期の4年を、2年ずつダブらせて切れないようにつないでいる。知恵を出し、それがうまくつながっていけばよい。地域の人みんなが協働するソフトづくりが一番大切である。使える人がいないのに機材だけ置いて意味がない。</p> <p>(委員) 地盤の善し悪しが生死を分けるので、情報伝達が大事である。</p>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 市民評価（消防防災部会）

<p>《評価対象事業名》： 自主防災活動推進支援事業・自主防災施設等整備支援事業</p>
<p>《事業の方向性に対する判定結果》</p>
<p>拡充：4名 現行どおり：1名</p>
<p>《今後の事業実施に関する意見、改善点等の提案等》</p>
<p>&lt;拡 充&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の充実と事業費の市負担の増額が望ましい。</li> <li>・事業内容は現行の水準で事業費の増額。</li> </ul> <p>&lt;現 行&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主だけでは組織は出来ない。指導をして欲しい。</li> </ul>